

レジュメ原稿様式

「ノーマライゼーションの考え方を支援に定着させるために」

○発表者名	社会福祉法人	祥和会	セルプひの	中原	輝房
共同研究者名	社会福祉法人	祥和会	セルプひの	渡邊	裕介
	社会福祉法人	祥和会	セルプひの	宮本	楓雅

### 1. 問題提起

これまで当事業所では支援というよりも「一緒に作業をする仲間」として利用者さんと関わっていた。その結果、近年利用者さんの高齢化・多様化に伴う支援が必要となってきたが、必要となる支援の知識や技術が不十分なように感じる場面が多々見受けられる。

そのため当事業所では、まず支援に対する知識・技術の獲得が必要なのではないかという課題が出てきた。

### 2. 目的

障がい者支援をしなくなかで基本となるノーマライゼーションの考え方を職員が意識し、当事業所職員がどの利用者さんに対しても、十分な支援を提供できるようになることを目的とする。

### 3. 方法

- ノーマライゼーションについて勉強をする。
- お互いに学んだことを職員間で共有し、今後の支援でどのように活用していくのかを話し合う。
- 実際にノーマライゼーションを意識した支援を実施する。
- 実施した結果をチームで振り返り、支援をブラッシュアップする。

### 4. 成果

- 利用者の出来ることを増やすことにより、本人の生活の幅が広がった。
- 新たにできる事が増えたことで、利用者本人の自信に繋がった。
- 利用者全員ではないが個性や障がい特性を理解し、支援につなげられることができた。
- 職員側の視点が変わったことにより、利用者の新たな強みを発見することができた。

### 5. 課題

- 徐々にノーマライゼーションの考え方が職員のなかに浸透しつつあるが、まだ職場全体にまでは行きわたっていない。
- 今後もノーマライゼーションの考え方を意識した支援が提供できるように、職場全体で研鑽していく必要がある。
- 上手くいった事例でもさらに振り返りを重ねていく。

令和6年度 研究発表  
セルプひの  
ノーマライゼーションの  
考え方を定着させるために  
中原・渡邊・宮本

セルプひの 渡邊 中原 宮本

1

目次

- 問題提起
- 目的
- 方法
- 成果
- 今後の課題

セルプひの 渡邊 中原 宮本

2

問題提起

支援に対する知識・技術の獲得が  
必要なのではないか？



セルプひの 渡邊 中原 宮本

3

目次

- 問題提起
- 目的
- 方法
- 成果
- 今後の課題

セルプひの 渡邊 中原 宮本

4

目的  
ノーマライゼーションの考え方を元にした支援



セルプひの 看護 中核 基本

5

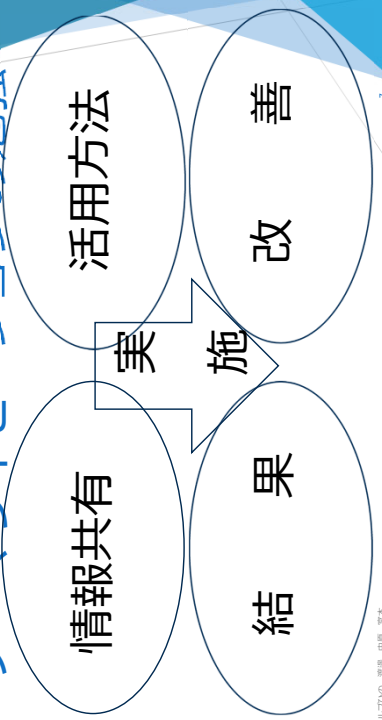
目次

- 問題提起
- 目的
- **方法**
- 成果
- 今後の課題

セルプひの 看護 中核 基本

6

ノーマライゼーションの勉強



情報共有

実 施

活 用 方 法

改 善

結 果

セルプひの 看護 中核 基本

7

8月9日 法人研修で学ぶ

ノーマライゼーションとは高齢者や障がい者などを施設に隔離せず、健全者と一緒に助け合いながら暮らしていくのが正常な社会の在り方であるとする考え方。

セルプひの 看護 中核 基本

8

ならば セルプひの の  
【一緒に働く仲間】という  
考え方も間違っていないのかも  
しれない。

セルプひの 看護 中務 基本 9

障がいや高齢化は異常ではなく  
**ハンディキャップ（個性）**  
として捉えられる視点を持つことが  
ノーマライゼーションを  
実践していくためには重要！

セルプひの 看護 中務 基本 10

正常と異常の境界線はどこ？  
正常とは？ 異常とは？



誰が決めるの？

セルプひの 看護 中務 基本 11

**支援に対する考え方**

【一緒に作業をする仲間】という思いは大切に  
しながら、高齢化・障がいの多様化に対する  
知識・技術の獲得を目指す。

↓

**今の支援方法の課題は？**

セルプひの 看護 中務 基本 12

今の支援の課題は？

↓

- ・この人はこんな人
- ・このやり方のほうが間違いない

↓

**決めつけていた！**

セルプひの 支援 中継 基本

13

**ダメ！  
無理！**



セルプひの 支援 中継 基本

14

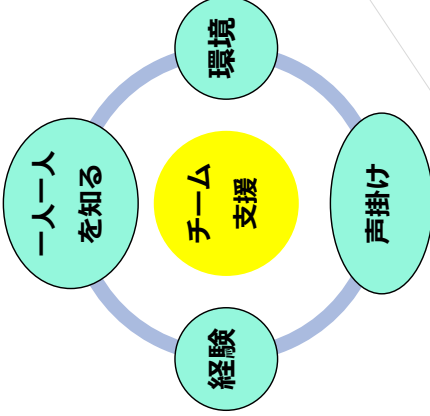
**「できること」(強味)**



セルプひの 支援 中継 基本

15

**「できる」を増やす！**



セルプひの 支援 中継 基本

16

セルプひのでは昼食後の  
弁当箱・箸・コップの片づけを  
自分で洗ってもらっています。

セルプひの 看護 中継 基本


17

利用者さんのなかには  
昼食後の弁当箱などを洗わず  
そのままにされている方が  
居られます。

セルプひの 看護 中継 基本


18

**事例 1**  
ある利用者さんのできること  
声かけで  
・手を洗うことができる




セルプひの 看護 中継 基本

19

**手洗い**  
  
**OK!**


↑

**コップ洗い**  
  
できるかな？

セルプひの 看護 中継 基本

20

声をかけてみたところ  
最初は「え？」という  
感じでしたが・・・



セルプひの 看護 中册 基本 21

ばい菌がいっぱい



きれいなコップ  
気持ちいい！！



**声掛けのしかたを変えてみた**

セルプひの 看護 中册 基本 22




**自分で洗えました！**



セルプひの 看護 23

さらに自分から  
コップを元にあつた場所に  
返すこともできた！！

やれやれできるじゃん！



すごいじゃん！！

セルプひの 看護

新たに**できる事**！ 増えた！！

笑顔いっぱい

やーい！  
（おん）

セルプひの 高橋 中野 喜本

できることが増えた利用者さんが  
いる一方で、できる事の応用が  
難しい利用者さんもいらっしゃいます。

やーい！  
（おん）

セルプひの 高橋 中野 喜本

**事例 2** 時刻の理解はできるが  
時計を見て次の行動へ  
移すことが難しい

次の行動は何？

セルプひの 高橋 中野 喜本

休憩になったよ

昼からの作業の時間だよ

セルプひの 高橋 中野 喜本



29

目次

- ・ 問題提起
- ・ 目的
- ・ 方法
- ・ **成果**
- ・ 今後の課題

セルプひの 推進 中核 基本

30

成果 1

生活の幅が広がった

できることが増えた

セルプひの 推進 中核 基本

31

成果 2

ノーマライゼーションを  
意識した支援

一人ひとりを知ることの  
大切さ

セルプひの 推進 中核 基本

32

目次

- ・ 問題提起
- ・ 目的
- ・ 方法
- ・ 成果
- ・ **今後の課題**

セルプひの 推進 中核 基本

## 課題

個々の支援は継続しているが、  
全ての人に対する支援は難しい

ノーマライゼーションの考え方が  
まだ職場全体に浸透していない

## まとめ

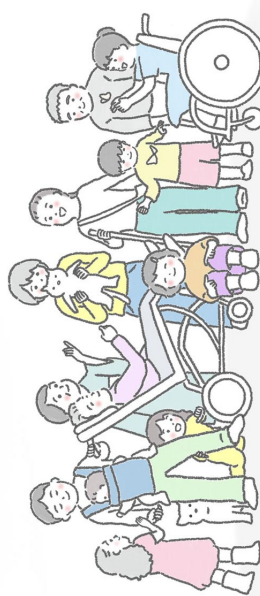
職員の思い込み・決めつけの視点ではなく、  
一人の社会人として個々と向き合い、  
その人の**強みや意思**を日々の生活に  
自然と活かしていきけるような支援を  
心がけていきたい。

セルプひの 看護 中野 高木

ノーマライゼーションの考え方が  
もっと社会で広まれば、ハンディキャップが  
強みになり、誰もが過ごしやすい  
なるのではないか。

セルプひの 看護 中野 高木

## 全ての人が 過ごしやすい社会に！



セルプひの 看護 高木

